



6 | 8 現役プロ野球選手直伝 日本ハムファイターズ少年野球教室

プロ野球イースタン・リーグ公式戦を翌日に控え、ふるさと公園野球場で日本ハムファイターズの選手による少年野球教室が開かれ、新十津川町、雨竜町、滝川市の小中学生147人が、あこがれのプロ選手から指導を受けました。

ファイターズからは浅沼寿紀外野手や杉谷拳士内野手など12人が訪れ、守備の基本を教えたり、打撃のお手本を示したりしました。

榊原諒投手は「調子が良い日もあれば、悪い日もある。毎日野球ノートをつけて、読み返すようにすると上達するよ」と、未来のプロ野球選手にアドバイスをしていました。

6 | 24 菊水区、雪辱果たす 全町一般男子ソフトボール大会

徳富川河川敷の野球場で、第32回全町一般男子ソフトボール大会が開催され、9チーム135人が熱戦を繰り広げました。

大会を制したのは一昨年王者の菊水区。初戦、準決勝と圧倒的な打撃力で勝ち進み、決勝では文京ブンブンズに12対10で競り勝って、2年ぶりに栄冠を手に入れました。

最優秀選手には、菊水区の時田晃宏さんが、優秀選手には文京ブンブンズの松原孝年さんが選ばれました。





6 | 9 スタジアムに快音響く イースタン・リーグ公式戦

プロ野球イースタン・リーグの公式戦「日本ハムファイターズ対読売ジャイアンツ」が、ふるさと公園ピネスタジアムで開催され、3607人の観客がプロのプレーに歓声を送りました。

このイベントは、町内の有志でつくる実行委員会が「新十津川でプロ野球を」と、誘致活動を実施し、結実。19年ぶりのプロ野球開催とあって、町内外から多くのファンが駆け付けました。

試合前には、球場外でサイン会などのファンサービスが行われました。中でもファイターズ2軍マスコットのカビーは、選手に勝るとも劣らない人気ぶりで、家族連れなどが次々に記念写真を撮っていました。

試合は、3対1で日本ハムファイターズが勝利しました。



6 | 16, 17 匠自慢の作品ずらり

観光協会（入井繁会長）が、改善センター前で第18回新十津川陶芸まつりを開催し、両日合わせて3500人の陶芸ファンでにぎわいました。

今年は、町内はもとより全道各地から38の窯元が出店しました。

来場者は、匠が1つ1つ丹精込めて焼き上げた作品を手に取り、陶芸家本人から作品の特徴や制作にまつわるエピソードを聞いて、お気に入りの陶芸品を買い求めています。



6 | 19 12号災害、復旧作業の指揮官来町

台風12号災害の復旧作業に携わった、国土交通省水管理・国土保全局砂防部の南哲行部長が来町し、ゆめりあで約70人の聴衆を前に講演会を開きました。

南部長は「土砂ダムの緊急工事をするにも、現場に重機が入れないので、ヘリで空輸できる3ト以下に分解して少しずつ運びました」と復旧作業の難しさを話す一方で、「復旧と復興は違います。復興には災害に負けない強い意志と将来のビジョンが必要です」と、十津川村にエールを送っていました。

